

■佳作 (4) 講評

「人口減少を感じるための鳥の目作戦」

丸岡 陽氏 (長岡技術科学大学)

国民の意識改革に向けて、俯瞰的な視点として「鳥の目」による住民参加を導くための手法を具体的に挙げて

いる視点はたいへん独創的である。

鳥の目作戦として情報提供のあり方が、まちづくりに対して具体的にどのような効果をもたらすか、あるいは、解決できない課題は何かなどについて考察があれば更に良かった。

平成27年度「社会資本体験レポートコンテスト」審査結果について

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
企画委員会 社会資本整備のあり方検討WG

序

当協会では、子どもたちの土木施設への興味を高め、建設コンサルタントの役割についてより広く知ってもらうことを目的に、社会資本を見学して感じたことをレポートとしてまとめてもらう「社会資本体験レポートコンテスト」を開催いたしました。

その結果、全国の小学生から79編の応募をいただきました。応募頂いたレポートについてWGで審査を行い、WG審査結果に対する表彰委員会での審議を経て、優秀賞10編、参加賞69編を選定しましたので、概要を紹介します。

1. コンテストの概要

- ・ 応募期間:平成27年6月18日～9月30日
- ・ 対象者:小学生
- ・ 応募結果:79編
- ・ 審査結果:優秀賞10編、参加賞69編

- ③ 自らの生活と結び付けて考えられていること
- ④ 自分の意見・感想を率直に述べていること
- ⑤ 読みやすさ

各委員の評価結果を集計・整理し、企画委員会 社会資本整備のあり方検討WGで審査を行い、WG審査結果に対する表彰委員会での審議を経て、優秀賞を決定いたしました。

2. 審査方法

レポートの審査は、当協会の企画委員会 社会資本整備のあり方検討WGの委員が次の5つの審査基準に基づき行いました。

◆審査基準◆

- ① テーマに沿った内容であること
- ② 自ら足を運んで調べた内容であること

3. 表彰方法

表彰は、表彰状(優秀賞)および賞品(図書カード:優秀賞1万円分、参加賞千円分)の発送を持って替えさせていただきます。

4. 優秀賞一覧

名前	学年	タイトル
岡田 理沙	小学1年生	しょうれんじダムけんがくについてきたよ
太田 朋希	小学2年生	みやがせダムを見て
植木 悠真	小学3年生	ひょうご県の土木いさんをたずねて
森木 洋那	小学3年生	島の宝、やすら浜港
宮本 有彩	小学4年生	関門橋を通過
黒川 諒也	小学4年生	水の惑星・地球を守る公共せつびをたずねて
縄井 湊伍	小学4年生	知らなかった父の仕事
岩田 彩花	小学5年生	土木のつながり発見ツアーに参加して
岡山 諒子	小学6年生	未来に残したい「建設コンサルタント」
新谷 理華	小学6年生	踏切から高架橋へ